



市民活動

サポートセンター 通信



協働のまちづくりフォーラムを開催しました



安曇野市は3月6日(日)、「協働のまちづくりフォーラム」を市役所本庁舎で開き、オンラインを含めて計約60人が参加しました。本年度は、身近な事例から協働の意義を考えていただく目的で「子育て支援から考える協働のかたち」をサブテーマに設定。新潟県上越市のNPO法人マミーズ・ネットの中條美奈子理事長が、「子育てしやすいまちには未来があります ～NPO法人マミーズ・ネットの取組～」と題して講演しました。

「それぞれの得意生かして対等なパートナー意識」 子育て支援事例に中條さん講演



オンラインと市役所で開かれた
協働のまちづくりフォーラム

フォーラムは、さまざまな団体が共通の目標に向かって力を合わせる「協働」の意義を発信する目的で毎年開催しています。

マミーズ・ネットは「子どもの幸せを願うすべての人々が地域で支え合って子育てできる社会をめざす」ことを使命に、子育て情報の集約・発信や居場所づくりなどを行政・他団体・企業などと協働しながら取り組んでいます。

行政との連携・協働について、中條さんは「それぞれ

の得意分野を生かしながら、対等のパートナーシップを意識している」と説明。NPOとして親子のニーズをキャッチすることが得意だとして、「まずは助成金なども活用しながらNPOとして取り組み、実現できる形で行政に働きかけてきました」と話しました。

また、NPOとしてこれまで大切にしてきたこととして①情報は広く地域に発信する②その人が楽しめる範囲で楽しいことをする③なにがとも全員一致は目指さない④ネットワークを広げ、活かす⑤子育て支援はまちづくり⑥お礼を言うことを忘れないの5点をあげました。

【NPO 法人マミーズ・ネット】

新潟県上越地域の子育てサークル連絡会と子育て応援誌の発行団体が一つとなり、2004年設立。現在、上越市や他の市民活動団体と協働しながら、講座・ワークショップの開催、「子育て応援ひろば ふう」の運営、子育て応援誌の発行などに取り組んでいる。2008年に「よみうり子育て応援団大賞」選考委員特別賞受賞、2018年には子育て支援分野で新潟県初の「県知事表彰」受賞。中條理事長は当初から活動に携わっている。

【参加者の感想】子育てサークルから発展させ、行政や企業との連携により、地域課題でもある子育て支援を市全体の取り組みへと発展させていることに感動しました。安曇野市の現在のキーワードは、つながり・連携ではないかと思います。また、子育て支援を受けた方々が、支援するという恩返しではありませんが、次につながる活動に結びついていることで、継続性が生まれてくることも学びました。



「安曇野のこどもを育てよう」

-こちょこちょの会-

子育ての悩みやストレスの解消を図り、心身ともに健やかな子どもを育てることのできる安曇野を目指し、親子講座や事例検討会、講演会を開催しました。

親子講座ではハンドマッサージをしながらお母さんからお話をお聞きする時間を作ったところ、とても喜ばれました。子どもとどう関わったらいいか事例から考える検討会では、コロナ対策としてZoomを活用するなどし、継続して学びを提供することができました。また、子育ての参考になる冊子の増補版を作成し、わらべうたを使ったふれあい遊びのコツを写真付きで具体的に紹介しました。「家でもできる」「より分かりやすくなった」と好評です。



「安曇野市内里山整備と明科天田山神社周辺の桜の植樹」

-あづみの樹楽会-

かつて桜の名所であった天田山神社の桜を復活させ、憩いの場所とするなど、里山の整備を目指して活動しました。天田山神社では倒木処理、神社の清掃、登山道への休憩用イスの設置を行いました。また、人の手が入らず荒れた保安林の間伐作業や、鳥獣被害対策として猿の餌となる栗の木などの伐採を行うとともに、伐倒講習会や蒔づくり講演会など、市民の皆さんが里山整備に関わるきっかけとなるイベントを開催しました。伐採した木を使ってボールペンを作り木の持ち主に贈る、「おかえり思い出の樹プロジェクト」という活動も始め、市のふるさと納税返礼品にも採用されるなど、活動の幅が広がりました。



つながりひろがる地域づくり事業補助金で
こんなことに取り組みました

*QRコードから成果発表の動画を閲覧できます。



自然農を学び、実践し、楽しもう

- Eisber Platz -

自分たちで農作物を作ることにより、その楽しさ、大変さ、食の安全性、おいしさを体感し、子どもと大人が一緒になって食や環境、農業について考えるきっかけをつくることを目的に活動してきました。無農薬、無施肥、無除草剤で大豆を育て、枝豆や大豆を収穫し、味噌を仕込みました。また、市民向けの自然農法や家庭菜園の講座を開催し、学びの機会を設けました。イベントなどを通じて様々な方と一緒に作業をすることで新たなコミュニティが生まれ、それぞれの得意を生かした繋がりから新たな活動が始まる、というプラスの循環が生まれました。



つながりひろがる地域づくり事業補助金 令和4年度募集

市民団体が市民の皆さんとともに、まちをより良くするために取り組む事業を応援します。

【助成上限額】 20万円(対象となる経費の2分の1の金額)

【対象経費】 事業を行うために直接必要になる経費(講師謝礼、文具などの消耗品費、チラシ作成費、施設使用料、ワークショップの材料費、参加者の損害保険料、会場設営の業者委託料、備品購入費等)

【提出方法】 4月28日(木)までに必要書類を地域づくり課窓口にご提出ください。



詳しくはHP
又は問い合わせ

3/27(日)
13:30~

助成金活用セミナー&つながりひろがる地域づくり事業説明会 開催

・目的実現のための力となる助成金。効果的に活用する力をつけましょう!

【内容】助成金の基本 / 伝わりやすい申請書 / 申請書作成ワーク

【場所】市役所本庁舎4階大会議室【講師】栗津知佳子さん(元・民間助成団体職員)



申込サイト

官民連携による地域課題解決の取り組み

－ 市民協働事業提案制度 事業報告 －

市民協働事業提案制度とは…

安曇野市が掲げるテーマに対し、市民団体から事業提案をしていた
だき、協働で取り組む制度です。

アズミノミライ cafe 【 あづみのファシリテーション部! × 地域づくり課まちづくり推進係 】

目的 市民自らが地域や自身が抱える課題に目を向け、対話を通じて解決策やその実現方法を考え、まちづくりや市民活動に関わる第一歩とする。

内容 子育ての困りごとをテーマに、ファシリテーショングラフィックという手法を活用し、本音で前向きに話し合い、自分たちにできることを考えた。

成果 実は様々な支援があるものの、子育て世代に届いていないという課題を解決するため、困ったときに頼れる支援やサービスを楽しく知ることができる「すごろく」を作成。今後もバージョンアップを図りながらできることを続けていくこととなった。



←こちらから途中経過や成果報告会の動画を見ることができます！

安曇野“住まいの終活のススメ”事業【 NEX-T 安曇野 × 環境課空家対策室 】

目的 法律・相続・登記・税務・建築等の要素に加え、多様な主体が絡み合う空き家問題について、「予防・診断・活用」という考え方のプロセスを見える化し、空き家の予防・診断の重要性を市民に周知する。

内容 安曇野における空き家の現状と課題を共有し、実地で経験するワークショップを開催。また空き家相談会やまち歩きと空き家見学を兼ねたイベントを開催した。そのうえで、これらの取り組みをまとめた「“住まいの終活のススメ”ハンドブック～空家の予防・活用・診断チェックシート～」を作成した。

成果 関係者間で課題を共有し、最も重要となる「予防・診断」に焦点を当て、わかりやすくまとめた。今後作成したハンドブックの配布を行い空き家の課題や予防策の啓発につなげる。



明科駅周辺まちあるき空き家空き店舗見学会【明科駅周辺まちづくり委員会×環境課空家対策室】

目的 明科地域の空き家空き店舗の利活用を推進し、まちなかに賑わいを取り戻す一助とするとともに、地域の景観及び環境保全につなげる。また、空き家所有者とのコミュニケーション活動を通じ、所有者の持つ悩みや問題解決を図り、空き家・空き店舗を現在の放置状態から利活用に導く。

内容 見学会を4回開催し、延べ 80 名ほどの参加があった。物件は延べ 27 件を見学した。また、同委員会所属で合同会社うずまきの代表が運営する「龍門測てらす」にて、空き家相談コーナーを設け、地域住民が気軽に相談できる場を作った。

成果 実際に空き家を利活用したいという相談が増え、まちなかの空き家所有者の理解が増し、物件の掘り起こしが進んだ。

下2つの事業は、「安曇野市空き家啓発講演会・市民協働事業活動報告会」で成果発表がありました。その様子を共催の信州地域デザインセンターがレポートしてくださっています→





情報コーナー

*新型コロナウイルスの感染状況によっては中止または縮小となる場合があります。

詳細はお問い合わせ先へご連絡ください。

*市民活動サポートセンターホームページでより詳しい情報を掲載しています。

明科いいまちサロン 笠原芳子陽春コンサート ～熱達のエレクトーンの響き～

- 日時 3月29日(火) 14:00～15:30
- 場所 明科公民館 講堂
- 演奏者 笠原 芳子さん(エレクトーン奏者)
- 参加費 500円(高校生以下100円)
- 問い合わせ 明科いいまちつくろうかい!!
明科公民館(62-4605)

安曇野歴史サロン 諏訪大社と式年造営御柱大祭

- 今年は7年に一度の御柱祭。諏訪神社の鎮座の経緯などに触れながら、御柱祭の基礎的なお話を伺います。
- 日時 4月17日(日) 14:00～15:30
 - 場所 明科公民館 講堂
 - 講師 宮坂 徹さん(下諏訪町長)
 - 参加費 500円(資料代)
 - 問い合わせ 安曇誕生の系譜を語る会 川崎さん
(090-5779-5058)

「緑のカーテン広げよう」講座 **要申込**

- 暑い夏を緑のカーテンで涼しく過ごすため、葉が厚く花期の長いオーシャンブルーを大きく育てるコツを学びます。
- 日時 4月29日(金) 10:00～11:00
 - 場所 市役所4階大会議室 ○参加費 500円
 - 申込 4月15日(金)、16日(土) 9:00～17:00に
電話で(あづみ野風土舎 竹川さん 82-4501)
 - 問い合わせ NPO法人あづみ野風土舎 磯野さん
(090-5437-4155)

地域を変えるチカラ 勉強会 **要申込**

- 寄付を募って自然池などを買い取り、豊かな自然を引き継いでいくナショナル・トラスト。現状と今後を考えます。
- 日時 3月29日(火) 10:30～正午
 - 場所 オンライン又は松本市中央公民館Mウイング
 - テーマ ナショナル・トラスト 自然を守る最後の手段
 - 講師 関 健志さん(日本ナショナル・トラスト協会事務局長)
 - 申込・問い合わせ (公財)長野県みらい基金
(0263-50-5535)

アルプス花街道 参加団体募集

- 美しい景観をつくり、安曇野を訪れる方を気持ち良くお迎えするため、マリーゴールドの植栽・管理、植栽場所の草刈り・清掃を行います。
- 実施期間 5月～11月(予定)
 - 実施場所 市内各所
 - 問い合わせ 実行委員会事務局(71-2494)
 - 申し込み 4月15日(金)までに事務局
(市地域づくり課)へ申込書を提出

タカラハーモニストファンド助成

- 助成内容 森林等の緑を保護、育成するための活動、水辺の自然環境を整備する活動、良質な自然環境の保全及び創出に資する活動
- 助成期間 令和4年6月から1年間(場合により2年間)
- 助成金額 10件程度で合わせて500万円
- 募集期間 3月31日(木)必着
- 問い合わせ タカラハーモニストファンド事務局
(075-211-5525)

「ふるさと探究安曇野」サイトオープン

- 「ふるさと探究安曇野」とは、安曇野の歴史・文化・景観・遺産の存在や成り立ち等を、様々な主体との協働で子どもたちに伝えていく仕組みづくりを進めていく取り組みです。次世代の子どもたちが市内のお宝を現場で知り、学び、伝えていくことを目指しています。
- 問い合わせ NPO法人安曇野ふるさとづくり応援団
(81-1325)

○アクセス方法

NPO法人安曇野ふるさとづくり応援団
ホームページまたはQRコードから→



アクティブシニアがんばろう事業補助金

- 助成対象 全て当てはまる団体 ①代表者が市民 ②40歳以上の市民が8人以上かつ5割以上が65歳以上 ③2カ月に1回以上活動を行う
- 助成内容 運動機能の向上、文化・芸術の活動に資する事業
- 助成期間 令和4年度
- 助成金額 活動が月2回以上…上限12万円、活動が月2回未満…上限6万円
- 募集期間 4月4日(月)～15日(金)
- 問い合わせ 安曇野市高齢者介護課 (71-2254)

◆◆◆イベント情報をお寄せください◆◆◆

- ・市民活動サポートセンター通信やホームページで、皆さんの活動やイベントの広報をします。参加者や会員の募集を呼び掛けることができますので、お気軽に市民活動サポートセンターにご連絡ください。
- ・イベントや催し、普段の活動に、センター職員や市民活動サポーターが取材に伺います。活動のPRにご活用ください。

【発行】安曇野市市民活動サポートセンター

〒399-8281 安曇野市豊科6000 安曇野市役所本庁舎2階 地域づくり課内
電話 0263-71-2013 営業時間 月曜日～金曜日 8:30～17:15
メール kururin@city.azumino.nagano.jp ※祝日/年末年始(12/29～1/3)除く

ホームページ



Facebook



Instagram

